

ロータリークラブに期待するもの、そして私の目指すもの

---

初山宏樹

静岡産業大学情報学部  
情報デザイン学科 永田ゼミ

私は今回、「藤枝ロータリークラブ」という冠講座の講義を受講した。ロータリークラブという言葉になじみがなく、どのようなものなのか気になったことがきっかけである。実際に受講し、全ての講義のお話を聞き、ロータリークラブがその地域の奉仕活動を行っていることを知ることができた。その中で最も私の印象に残った講義は、障害者の方をお招きし、グループワークをした時の講義であった。

私は、ロータリークラブの講義を全て聞き終え、改めてロータリークラブについて調べてみた。すると、ロータリークラブには、4つ行動基準というものが存在し、それに基づいて皆様が行動しているということを新たに知ることができた。4つの行動基準の中には、「みんなに公平か」という内容がある。あの印象に残った講義では、障害を持った方々がお店でほかの皆様とともに働いているという話があり、まさにどのような方々も公平な立場で働いているのだなと改めて思った。

講義の中で、一つだけ強く思ったことがある。この町のバリアフリーについてである。グループワークにご一緒させていただいた方がおっしゃっていたことなのだが、藤枝には障害者の方々が困ってしまうことが多々あるそうだ。バスの段差で乗車と下車がしにくいこと、カラオケ店で車いす高さが合わずに疲れてしまうことなど、問題は数多くあるそうだ。確かに思い返してみると、藤枝にバリアフリーが少ないということは、沼津からこちらに引っ越してきた時から感じていたことだった。このグループワークでは、ほかの方からも藤枝にはバリアフリーが少ないという意見が多く出されていた。

そこで私は、ロータリークラブの皆様には、藤枝にバリアフリーをもっと増やしていただきたいと思う。バリアフリーが増え、障害者の方々も普通の方々と同じように何事にも困らずに生活することができるようになった時こそ、みんなが公平である、ということが実現できたと言えるのではないだろうか。

その他にも、今回の講義は私に様々な知識を与えてくれた。企業を立ち上げるとはどのようなことなのか、経営者としてどのような苦勞をしてきたのか、そして、企業に対する皆様の思い。普段聞くことができないようなお話をたくさん聞くことができた。

そのような話を聞きながら、私も私自身が輝くことができるような企業で働きたいと思うようになった。思えば、私もかつて学校の行事等で様々な仕事をこなしてきた。文化祭の飾り付け、料理を作る調理係、私が所属していたワープロやエクセル等の情報系文化部の部活での雑用等だ。しかし、そのことを自分の意志でやりたいと思ったことはあまりなかった。何をすることも無気力で、何もやる気が起こらない、そのようなことが多く、自分はこんなことでよいのだろうかといつも考えていた。

しかしそのような中、数は少ないものの自分から率先してやろうとしたもの

もいくつかある。先述の部活の雑用もその一つだった。私は部活の戦力としては正直なところあまり役に立たなかった。その時、何かみんなの役に立てることはないかと思ったことが部活の雑用を率先して行うようになったきっかけであった。部活のメンバーが大会へ向けて問題を解いている間に、次の問題の印刷を行ったり、余分に印刷しておいた問題集等の資料をしっかりとまとめておいたりするのが、私の仕事だった。そんな時に、自分から率先して誰かのために仕事をする事の喜びに気付くことができたのだった。

今、大学3年生となった私は今回、この講義でそのことを思い出した。講師の方々には、自分の意志でその仕事に誇りを持って働いておられ、その姿勢にとっても共感することができた。だからこそ私は、自分の仕事に誇りを持つことができるような仕事をしたいと思うようになったのである。

今まで通り、特に何も考えずに仕事を安請け合いしてしまったら、自分の人生を損ってしまう。仕事は、充実した人生を送るために最も重要なものである。人生の中核となるものだといっても過言ではないだろう。他人に流され、興味の無いような仕事に就いてしまったら、人生を無気力に過ごすことと変わりなくなってしまう。だからこそ、自分で起業するとまではいかなくとも、自分がやりたいと思ったことができるような仕事に就きたいと強く思った。そのような仕事に就くことができれば、人生はとても充実したものとなり、楽しいものになると思う。そして、自分の仕事に誇りを持ち、取り組み、業績を上げていくことで最終的には、誰かに頼られるような人間になりたいと思っている。率先して人の上に立ち、その下にいる人たちを成功へ導いていく、そんな人間を目指していきたいのである。

私は今、将来、コンピュータのシステムの開発に携わる仕事に就きたいと思っている。具体的にはプログラムを書き込んでいき、システムを動くようにしていくプログラマーになりたいと考え、勉学を進めている。このような夢があるので、残りの大学生活の1年半は、気を抜くことなくしっかりと過ごしていきたいと思う。今から自分の希望する業種と関係がある企業を調べ、自分がここならば、力を発揮することができると思えるような企業を探し出し、その企業で働けるだけの知識や技術を身に付けていきたいと思っている。

学生生活を大切にし、しっかりと準備をして、この先の人生を充実させるための就職を成功させる。そして、最終的には人に誇れるような仕事ができるようになる。そのような人間に私はなりたいと思う。このようなことを改めて考える機会を、この講義は与えてくださったと思う。ロータリークラブの講師の方々には、本当に感謝したいと思う。